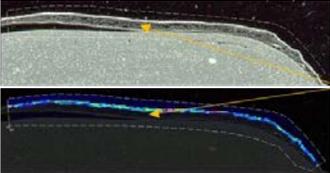


【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

| | |
|------|--|
| 発表時期 | 2020年 |
| 題名 | Localization of Flavan-3-ol Species in Peanut Testa by Mass Spectrometry Imaging |
| 掲載雑誌 | <i>Molecules</i> , 25(10), 2373, 2020. |
| 著者 | <p><u>Hirofumi Enomoto</u>^{1,2,3}, Takashi Nirasawa⁴.</p> <p><small>1帝京大・理工、2帝京大院・総合理工、3帝京大・先端機器分析センター、4ブルカージャパン株式会社 (本学教員にはアンダーライン)</small></p> |
| 概要 | <p>ブルカージャパン株式会社、荻澤氏との共同研究の成果が、<i>Molecules</i>のSpecial issue “Tannin Analysis, Chemistry, and Functions”に掲載されました。</p> <p>MALDI-質量分析イメージングでは、生体分子のイオン化を補助するため、組織切片上へのマトリックスのコーティングが必須になります。組織切片へのマトリックスコーティング法には主にスプレー法が用いられていますが、しばしば生体分子の非局在化という問題がみられました。そこで本研究では、新たにマトリックスのコーティング法としてマトリックスの蒸着/再結晶化を検討しました。その結果、落花生種皮中のフラバン-3-オール類の詳細な可視化に成功し、フラバン-3-オール類が種皮内の更に上皮組織に局在していることを明らかにしました。本研究で得られた落花生由来のフラバン-3-オール類の局在情報は、今後、フラバン-3-オール類の抽出・精製効率の改善に貢献するものと期待されます。</p> |
| 関連画像 | <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p style="text-align: center;">落花生切片のスカナ画像</p> <p>Aタイプ プロシアニジン ダイマー のイオンイメージ (フラバン-3-オール類の一種)</p> </div> <div style="flex: 1; text-align: center;">  </div> <div style="flex: 0.2; padding-left: 10px;"> <p>種皮</p> </div> </div> |